

ご取材のお願い

平成 25 年 3 月 21 日

社会福祉法人 陸前高田市保育協会

公益財団法人 ヤマト福祉財団

陸前高田市 竹駒保育園再建事業に伴う竣工式開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第3次助成先の一つである社会福祉法人陸前高田市保育協会（以下「陸前高田市保育協会」）では、再建中であった竹駒保育園の竣工式を、3月29日（金）午前10時30分より執り行います。

本施設は、陸前高田市における公共施設復興再生新築の最初の施設となります。

岩手県陸前高田市には、陸前高田市保育協会に属する五つの保育園がありましたが、東日本大震災で、その中の竹駒保育園と広田保育園の二つの施設が甚大な被害を受けました。海から6キロメートルも離れた場所であったにもかかわらず、特に竹駒保育園は、川を逆流した津波によって建物が大規模半壊し、使用することができなくなりました。震災後の一年間は系列の保育園である定員30名の下矢作保育園に55名の園児を受け入れ、職員室を保育室に代用するなどしてしのいできました。昨年4月からは仮設園舎に移り40名の園児を受け入れ、狭い園舎と園庭を有効利用しながら保育を行っています。

陸前高田市保育協会では未来を担う子供達のため、また復興に奔走する保護者のために、子供達を安心して預けられる施設の高台への移設を計画しました。しかし、原型復旧の原則からはずれるため国からの補助を得られない状況でした。

ヤマト福祉財団では、陸前高田市の復興に向けた地域就労環境を早期に改善するため、平成23年12月、竹駒保育園を高台に再建する費用として総額2億3400万円の助成を決定致しました。

移転先は、以前の場所より10メートルほど高い位置となり、近くには小学校や住宅等の建設予定地があるため、今後は竹駒地区の教育の中心地として期待される場所です。昨年7月30日に地鎮祭を行い、このたび待望の竣工式を迎えます。



（被災した竹駒保育園）（24年7月30日の地鎮祭）（25年2月20日の上棟式）（保育園完成予想図）

岩手県、東北の復興は途上にあります。震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

社会福祉法人 陸前高田市保育協会

担当：熊谷 (0192-22-9288)

公益財団法人 ヤマト福祉財団

担当：早川・渡辺 (03-3248-0691)

「陸前高田市竹駒保育園」竣工式

1. 日時 平成 25 年 3 月 29 日（金） 午前 10 時 30 分開始
（受付 午前 9 時 30 分より、10 時 20 分まで園内見学できます）
2. 場所 岩手県陸前高田市竹駒町字館 13 番地 1 竹駒保育園新園舎
3. 主な出席者
 - （1）社会福祉法人 陸前高田市保育協会
理事長 藤井 喜八郎
 - （2）陸前高田市
市長 戸羽 太
 - （3）岩手県沿岸広域振興局
副局長 水野 尚光
 - （4）公益財団法人 ヤマト福祉財団
理事長 有富 慶二
4. 施設概要
 - （新施設）木造平屋建て 建物：761 m²、敷地：2711 m²
園児：70 人定員、職員：18 人
 - （旧施設）木造平屋建て 建物：460 m²、敷地：2380 m²
園児：45 人定員 職員：13 人

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。平成 24 年 6 月 30 日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142 億円 3608 万 1360 円となったヤマトグループの「宅急便 1 個につき 10 円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額 142 億 8448 万 751 円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第 5 次までに助成対象 31 件に対し、総額 142 億 6600 万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。